

大楠

55

2016

[平成28年]



図書館キャラクター「ひのと」

Contents

- ① 館長エッセイ
- ② 特集「図書館再開!! ～熊本地震からの復旧～」
- ⑧ NEWS [図書館からのお知らせ]
- ⑪ Library Data

特集

図書館再開!!



図書館復旧にあたって



林 裕

Hiroshi Hayashi

副学長、商学部教授
保険論専攻
著書／『保険の基礎知識』『家計保険論』『リスク社会における生活設計』『家計保険と消費者』『保険論講義』（いずれも税務経理協会より出版）など。

今春、熊本県は、明治22年に発生したM6.3の直下型地震以来、127年ぶりの震災に見舞われました。4月14日のM6.5の前震および4月16日のM7.3の本震と、二度にわたる地震により、本学の図書館は本の水損、書架などが倒壊するなどの被害を受け、しばらく図書館の機能が止まってしまう、利用者の皆様には大変ご迷惑をお掛けいたしました。それから開館までの間、ボランティアの学生をはじめ、図書館関係者が一丸となって、図書館復旧に向け様々な作業に取り組んでまいりました。

5月9日に授業が再開した後も開館の目処がたたず、5月16日からは本学生限定で部分開館をしましたが、書架の修理が完了するまでダンボールに入れた本を書架に戻すことができなかったため、書架の中に本がない状態がしばらく続き、本来の意味での開館とは程遠い有様でした。

7月下旬から少しずつ始まっていた復旧工事は、春学期の定期試験が終わった8月22日から本格的に開始、その殆どを休館日として作業を迅速に終わらせ、9月23日から1階と2階を平常開館。10月24日より3階と、ようやく全フロアが開館して地震前とほぼ同じように利用していただけの状態になりました。本当に長い間お待ちいただき、感謝申し上げます。

本学図書館は、これまで『87万冊の蔵書を有する西日本有数の図書館』『地域にも開かれた知の宝庫』と謳い、開架図書約15万冊、蔵書約87万冊、約900席の閲覧室、雑誌約11,000タイトル、AV資料約14,000点、マイクロ資料約17,000点など、西日本有数の規模と内容を誇っておりまして。

教育と研究の拠点である大学図書館は、学びの場として、これまで多くの学生に利用されてきましたが、2000年頃からラーニング・コモンズ（複数の学生が集まり、様々な情報資源を活用しつつ議論を進めていく学習スタイルを可能にするスペース）が図書館に導入され始め、学習支援の場としても注目されています。

平成27年度文部科学省「学術情報基盤実態調査」報告書によるとラーニング・コモンズを設置する大学は、全国779校のうち、2010年度の110大学から2015年度には441大学（52.8%）へと増えています。この背景には、中央教育審議会答申（平成24年8月）で、学生の主体的な学びを促すアクティブ・ラーニングが推進されたこともあるようです。

さらに電子書籍の増加も特長の一つです。電子書籍のタイトル数（延べ数）は、2010年度の約129万タイトルから2014年度には約509万タイトルへ、特に洋書は電子化が急速に進んでいるようです。機関リポジトリを構築する大学も、2014年度は440校で、前年より60校増え、全体の56.5%を占め、学術情報流通のオープンアクセスに重要な役割を果たしています。このように図書館資料のデジタル化が急ピッチで進み、図書館を取り巻く環境が変化している現在、資料とインターネットなどのWeb情報を上手く組み入れた資料収集が必須となっています。

そこで今度の復旧工事により3階の西側のスペースを、図書館内の資料も使いながらWeb等で情報収集する学習を支援するために、80席のパソコンコーナーに改修しました。

バージョンアップした図書館を訪れて、ぜひご利用ください。

Oaksとは

本学の大江キャンパスの建物は、奈良飛鳥時代の古墳群の上に築かれていますが、この地を考古学では「大江青葉遺跡」と呼んでいます。

そのキャンパスには、創立当時から風雪に耐え我々を見守ってきた高さ20m、幹周り4～5mに達する県木でもある緑豊かな楠の大木が何本もあります。これら歴史ある地と天高く聳えた大楠のように、当館電算システムと学園の発展を願ってOaks（Oe Aoba Kumamoto Gakuen University Library Information System）と命名しました。



特集

図書館再開!!

～熊本地震からの復旧～

平成28年4月14日(木)21時26分、M6.5、最大震度7の前震、さらに4月16日(土)1時25分にはM7.3、最大震度7の本震が発生。震度7を28時間以内に2回観測したのは、『気象庁観測史上初めて』といわれる熊本地震により、図書館は本の水損、書架の倒壊、蔵書のうち7割が落下するなどの被害を受けました。

そこで今回の特集では、図書館の被害状況と、そこから図書館が復旧するまでの経過をお伝えします。



前震発生

マグニチュード
最大震度 7 6.5

本震発生

マグニチュード
最大震度 7 7.3



応援に来てくれた学生ボランティア

【復旧作業等】

- ダンボール(約3500個)組み立て作業。
- 1階の落下本を書架の近くに積む。1階の文庫・新書および書架に残っている本を書架点検のためダンボールに箱詰め。そのダンボールをラーニング・コモンズエリア、東側閲覧スペースに寄せる。
- 2階書誌コーナーの大学蔵書目録等、不要本をまとめる。
- AVコーナー、新聞コーナー片付け。
- 水損した文庫・新書、約2000冊を処分。

4.14(木) 21:26 → 4.16(土) 1:25 → 4.19(火) → 4.20(水) 30(土)



多くの書架が破損

- 図書館ホームページ、facebook、ツイッターで、図書館全サービス停止のお知らせ。



復旧作業するスタッフ

- 3階の散乱している紀要をまとめ、ビニール紐で括る。郷土資料と図書館学関連の本をダンボールに箱詰め。地図室ガラス片付け。
- 地下電動書架の落下本を地下通路に出す。電動書架のチェックが終わった区間の本を元に戻す。
- 図書館ホームページ、facebook、ツイッターで、臨時休館のお知らせ(再開未定)。
- 被害状況と復旧の様子や経過報告をfacebookに掲載開始。アクセス9万件超。
- データベース「Japan Knowledge Lib」のユーザー数を1から10へ変更、通学困難者の自宅学習支援として、学外からも利用できるID/PASS製の緊急アカウント準備。

被災から復旧へ

1F

文庫・新書が水損、また書架が傾きとめ具が外れるなどの被害がでました。本が散在して足の踏み場も無い状態に。そこで耐震を考え、7段の書架の半分以上を5段に変更。残る7段の書架には天つなぎをつけました。



一般図書



特設コーナー



文庫・新書



一般図書

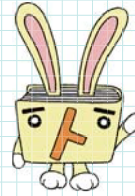


シラバス特設コーナー



文庫・新書

学生へのサービス充実をはかる。



- 3階紀要を地下、1階に移動。
- 箱詰めした3階郷土資料、図書館学関係の本を両端へ移動。
- 3階有価証券報告書と新聞縮刷版を書架から離し、床に並べる。
- 1階から3階の書架チェック。

図書館ホームページ、facebook、掲示等で平成28年熊本地震への図書館サービス支援についてお知らせ(大学コンソーシアム熊本の図書館相互利用のことなど)。

→ 5.2月 ~ 7土 → 5.9月 → 5.11水 → 5.16月 ~ 31火

授業再開。

教室が不足し2階の学習室を教室として利用することに。授業再開に向け、復旧作業を継続。「新入生図書館ガイダンス」の無期延期が決まる。

図書館は当分の間閉館。返却のみ受付ける(1階メインカウンターの一部を開け対応)。



1階エントランス



2階中央(英語多読図書)

- AVホール開放。
- 1階エントランスに学習スペースを設置し、就職活動やレポート作成関連本、小説等を並べて貸出開始。
- 図書館ホームページ、facebookにて、図書館の部分開館についてお知らせ。
- 2階中央にシラバス掲載の参考図書や資格関係問題集などをブックトラック等を利用して配架。
- 絵本、英語多読図書を2階雑誌コーナーの一角に設置。
- 3階の有価証券報告書を、地下へ移動。
- 2階グループ学習室の自由利用開始(授業が入っていない時間帯)。

被災から復旧へ

2F

低書架や雑誌架には大きな被害はなかったものの高書架は1階と同じ状況でした。しかし、比較的被害の少なかった2階では、AVコーナーやレファレンスコーナーでのサービスをいち早く再開しました。



書誌・参考図書



新聞縮刷版



目録カード(収納棚)



書誌・参考図書



新聞縮刷版



目録カードあと

図書館再開!! ～熊本地震からの復旧～



しおり「図書館応援」バージョンを配布

- AVコーナー個室の利用開始。
- 教員と大学院生の地下書庫利用を再開。壊れた電動書架は、図書館職員が手動で作動。
- 「学生懸賞論文作成のためのデータベース活用方法」講習会を実施。



6.1水 ～ 30木 → 7.1金 ～ 30土 → 8.1月 ～ 31水

21:30まで開館開始。
部分開館しながら、復旧作業が続く。



【主な工事内容】

- 倒壊した書架の解体、廃棄処分。
- 1階の7段書架の半数を5段に改造。
- 書架の修復と耐震補強。
- 3階にスチール書架設置。
- 3階西側をパソコンコーナーに改装。
- 各所破損箇所の修復。

本格的工事開始。

8.22月

- 8/11(木)、利用者への工事開始のあいさつ文と休館日を掲示。8/12(金)にホームページ、facebook、ポータルサイトなどで工事と休館を周知。

- 8/22(月)からの3階の解体工事の前に、床置している新聞縮刷版、紀要、書籍などを壁に寄せる作業を学生アルバイトとともに、一斉に行う。

- 1階カウンター、AVホール、スタディールームは休館中も9時～17時まで開放。

被災から復旧へ

3F

修理で済んだのは書誌・図書館学の低書架だけで、高書架の殆どが倒壊しました。倒壊した書架を撤去したあとにパソコンコーナーを設置。木製の書架をスチール製に変更するなど、館内で一番変化したスペースとなりました。



研究紀要



郷土資料



有価証券報告書等

新年度(2017年4月)までにはパソコンが設置されます。



パソコンコーナー(研究紀要あと)



郷土資料・一般図書



学習スペース(有価証券報告書等あと)

地下1階工事 始まる。

- 9/17(土)、18日(日)で学生ボランティア募集。
- 9/16(金)に1階工事が終了。
- 9/17(土)、1階、配架作業開始(23日(金)開館に向け、学生ボランティアも含め図書館職員全員で、配架関連作業実施)。



本を詰めたダンボール箱を
書架の近くへ運ぶ(重労働)。

1階から3階まで 開館。

9.9金

10.24月

9.1木

30金

10.1土

31月

9.23金

工事期間中は、休館・利用制限を繰り返し、
復旧作業にあたる。

- 開館と並行して1階の配架作業継続。

- 10/5(水)、3階の配架作業開始。
- 新聞縮刷版の棚の修理、配架作業。
- 3階マイクロキャビネット架納品。
- その他、主に3階に関する作業。

1階、2階開館。



復旧作業時には、図書館関係者、卒業生など沢山の方々から
作業用の備品、水や非常食等、多くの支援をいただきました。
終わりの見えない混沌とした日々の中、それが大きな励み
になりました。本当にありがとうございました。

図書館スタッフ一同

Volunteer [ボランティア]

散乱した落下本の破損の有無を一冊ずつ丁寧に確認しながら仕分けする
作業のあと、それをダンボールに詰め仮置き場へ。また研究紀要など、ダン
ボールに入れない資料は紐で括って階段でのリレー運搬。学生などボラ
ンティアで手伝ってくれた方には本当に感謝しています。

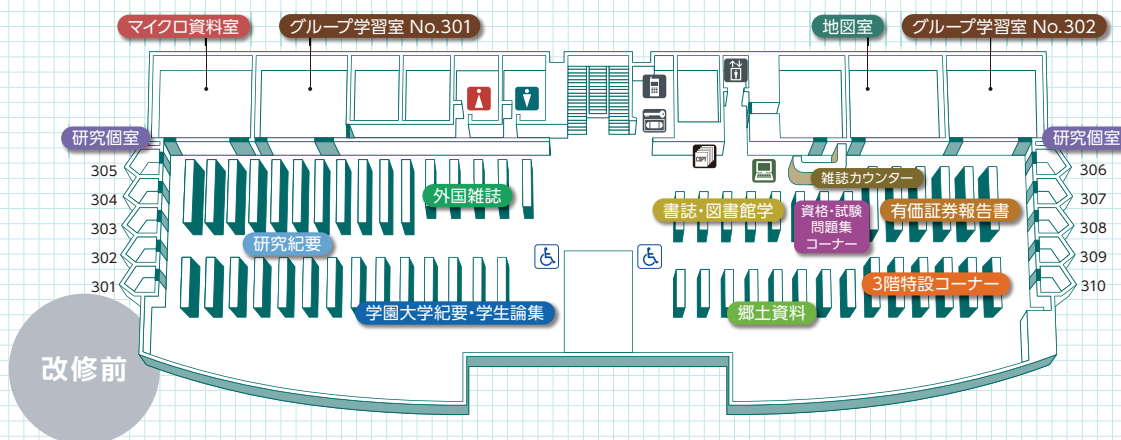


災害時の図書館長として、
多忙な毎日を過ごさせてい
ただきました。図書館職員
の皆さん、ボランティア学生
の皆さんの協力で素晴らしい
施設が再開でき、今後も
安全な学習の場として大い
に利用されることを願って
います。

堤 豊(前図書館長)
商学部教授

3階フロア Renewal

3階は、壊れた書架を撤去した後に、80席のパソコンコーナーを設置。
図書館が所蔵する資料を利用しながら、インターネットやデータベースで情報収集ができる場所が大幅に増えました。
情報関連の図書も隣接した場所に配架。1階から0類(総記)、1類(哲学)、2類(歴史)の本も3階へお引越し。
3階の静寂な空間の中、研究や学習が、今まで以上にはかどるスペースへと変わりました。



がんばれ
図書館

応援しています!!



中尾 拓海
(リーガル・エコノミクス学科1年)

よく訪れる図書館がいち早く復旧するように願いボランティアしました!



古川 友和
(経営学科2年)

グループ学習室が利用できなくて困っていたが、利用できるようになって、プレゼンの練習や団体での会議にとっても助かりました。

馬場 美帆 (商学科2年)

これまで図書館が開いていることが当たり前だったので気づかなかったのですが、とてもありがたいことだと思いました。

池上 和行先生 (非常勤講師)

祝・再開、今まで以上に図書館で過ごす時間が私にとって、貴重で充実したものと実感しました。



細江 智裕
(商学科4年)

就職活動中で情報収集や仲間と情報交換する場所として利用していたので、開館を待ちわびていました。



平山 真子
(経済学科4年)

学園大生としての日常が戻ったような気がして嬉しく思いました。勉強できる環境があるのは幸せなことです。



山口 慎一郎
(大学院会計専門職研究科2年)

僕ら大学院生には、論文作成など日々の研究で、なくてはならない図書館の復旧に協力できたことは、嬉しく思います。



荒木 真優
(英米学科3年)

授業の空き時間や放課後に課題をしたり、DVDを見たりと、図書館をよく利用していたため、復旧はとても嬉しいです!



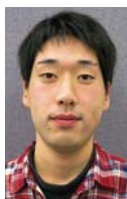
田中 慶文
(リーガル・エコノミクス学科4年)

公務員試験や卒論の勉強を図書館の本を使って取り組んでいたので図書館が復旧してとても助かっています。



万田 麻央
(国際経済学科4年)

図書館には頑張っている仲間が沢山います。卒業前に使えるようになり、みんながまた集まって来たときは本当に嬉しかったです。



井上 嵩史
(商学科3年)

ボランティアでは作業のたいへんさを実感しました。再度、職員の方に感謝したいと思いました。



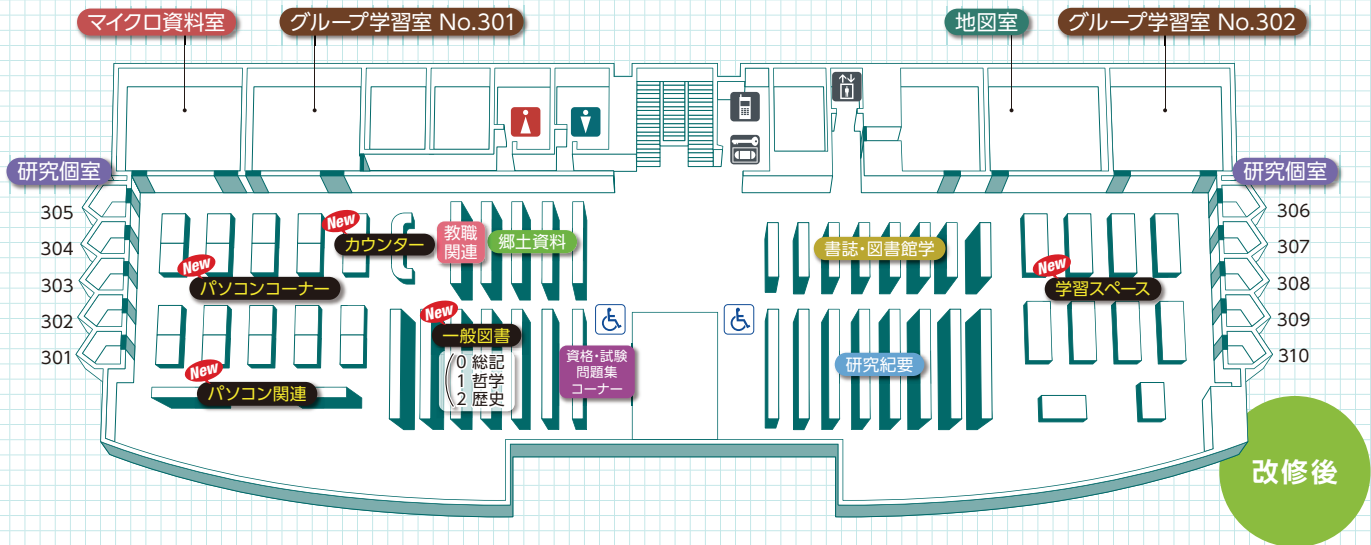
中鶴 綾香
(社会福祉学科3年)

図書館が再開し、本やインターネット等で震災や就活等の調べ物やレポート作成、資格の勉強等ができて助かりました。



岡村 一先生
(外国語学部教授)

後片づけでは本の重さ、多さに閉口。でも学生ボランティアが来ると捗る。学生の力を見直しました。



news [図書館からのお知らせ]

1 各種イベント開催！

“学生とつくる図書館”をコンセプトに掲げ、学生・教員・図書館の3者が協働で企画・運営しました。近年の大学図書館の主流となるアクティブ・ラーニングを意識し、イベント後は参加者同士によるディスカッションを行い、対話や考察を通して、より深い学び・より質の高い学びを目指しました。今年度はラインナップを充実させたり、違った切り口で告知するなど、利用者の興味・関心を持つような工夫を施しました。また、レポート・論文作成の書き方やプレゼンテーションの仕方など、図書館スタッフによる実践的な指導も組み込みました。

利用者がイベントに参加することで、継続的な図書館利用や自主的な学びへ繋がり、情報を主体的に活用する能力(情報リテラシー)が発揮できます。さらに情報を扱う基本的な手法をマスターすれば、収集した情報を整理・分析・加工・発信することもできます。

学習支援としての図書館活動を学部教育にからめていくには、学部や他部署との連携が不可欠ですし、図書館を内外へアピールする広報の工夫も必要です。今後も利用教育の普及に向けて、サポート体制を強化していきます。

平成27年	9月18日(金)～11月30日(月)	NHK大河ドラマ「花燃ゆ」吉田松陰ゆかりの熊本の人々～宮部鼎蔵・久坂玄瑞・河上彦斎(第2弾)	
	10月5日(月)	日経テレコンデータベース講習会	
	11月12日(木)	就活力アップ講座(1回目)	
	11月13日(金)	映画上映会「モーターサイクルダイアリーズ」	
	11月17日(火)	ジャパンナレッジLib/日経テレコン/毎索/CiNii Articles データベース講習会	
	11月18日(水)	eol(企業情報データベース)講習会	
	11月26日(木)	就活力アップ講座(2回目)	
	12月1日(火)～1月31日(日)	熊本ゆかりの維新の英傑～坂本龍馬・西郷隆盛・勝海舟(第3弾)	
	12月4日(金)	映画上映会「Girl Rising～私が決める、私の未来～」	
	1月29日(金)	オーサー・ビジット(対談:石渡嶺司氏・株式会社日伝)	
	3月9日(水)	「教えて!平瀬さん 新聞記事の探し方」講習会	
	5月8日(日)～継続中	「平成28年(2016年)熊本地震」に関する新聞記事・資料展示(第1弾:地震直後の様子)(第2弾:復興への一歩)	
平成28年	6月24日(金)	学生懸賞論文作成のためのデータベース活用法	
	11月10日(木)	ジャパンナレッジLib・日経テレコン・毎索・CiNii Articlesを用いたレポート作成及び苦手克服講習会	
	11月21日(月)	日経テレコンではじめる企業・業界研究	
	11月29日(火)	eolを利用した就活に役立つ有価証券報告書読み方セミナー	
	11月30日(水)	「EBSCOhost」データベース講習会	
	12月1日(木)～12月2日(金)	就活生向け「新聞記事の探し方」講習会	
	12月10日(土)	映画上映会「Girl Rising～私が決める、私の未来～」	

2 再開！図書館ガイダンス



4月14・16日に発生した熊本地震の影響を受けて、今年度予定していた図書館新入生ガイダンス及びステップアップ・ガイダンスが中止となり、図書館の利用者（特に新入生）には十分な図書館サービスが提供できないまま6ヶ月が経過しました。この期間は図書館の完全復旧を最優先としていましたが、秋学期の授業が再開し、図書館も一部開館でのサービスが可能となり、図書館の利用に関する問い合わせや、レポート作成及び資料収集の仕方の相談等が増えてきたことを受けて、10月よりガイダンスを再開することになりました。

ガイダンスを実施することは、学生自身による自発的な図書館利用の一助となり、「図書館における学習支援実態調査」の集計も可能となり、ひいては現状の分析と継続的な効果の測定の目的も達成すると考えます。また、利用者のニーズの把握とさらなる学習支援環境の整備へとつながることが期待できます。今回の復旧工事に伴い、書架の配置やパソコン室の設置など、図書館内のゾーニングも大きく変化しているので、ガイダンスを通して「震災後の新しい図書館・変化した図書館」を紹介していく予定です。

実施期間：平成28年10月24日～平成29年1月12日

対象：学生・院生

所要時間：演習、選択科目及び必修科目の授業時間（90分）

内容：〈図書館新入生ガイダンス〉

・図書館の利用案内プレゼンテーション

・地下書庫及びフロア見学

・図書の借り方、新聞記事及び雑誌記事の探し方、データベース紹介

・Webアンケート

〈ステップアップ・ガイダンス〉

・データベース及び電子ジャーナルを使った情報収集

・新聞記事及び雑誌記事の探し方、論文作成に関する情報収集の仕方

・DVD視聴「ゼミ発表の仕方」「レポート・論文の書き方」「引用の仕方」

・本学に無い資料の探し方、入手方法

・マイライブラリの活用方法

・法律及び判例文献情報の探し方

・Webアンケート

★教員からの要望

- ・レポートの作り方、プレゼンの仕方など実践的な指導が必要
- ・「ネットに頼らない」レポート作りを強調してほしい
- ・コピーをしないで自分の作業の中からレポートを作ること学生へ伝えてほしい

★図書館の今後の目標

- ・学習支援に根ざした図書館プログラム企画
- ・正課授業との連携～初年次演習での図書館ガイダンスを充実させる
- ・ガイダンス受講率が図書館利用統計にどのような影響があるか検証する

★図書館における学習支援実態調査

- ・調査結果を図書館ホームページに公開しました。

<http://www.lib.kumagaku.ac.jp/news/news1752.html>

3 第13回 読書会が 開催されました

10月28日（金）、ラーニング・コモンズで、学生コンシェルジュ主催の第13回読書会「モノづくり×本」が開催されました。

今回は読書会のほか、モノづくり企画として立体折り紙を取り入れ、前半プログラム「立体折り紙レッスン」では、参加者全員で『ネズミ』を折りました。目やリボンなどのパーツをつけて絵本に出てきそうなどとても可愛いネズミたちが完成しました。

今回の立体折り紙の折り方は、図書館にも所蔵している『端正な折り紙：The beauty of origami』に掲載されています。

後半プログラム「思い出の一冊」では、参加者がそれぞれお気に入りの一冊（絵本や小説など）を紹介しました。他の人に本を紹介することで「また読み返したい」、「この本も読んでみたい」「続きが気になった」と、本への興味も深まったようです。

今回の読書会は大盛況に終わり、学生コンシェルジュは、これからも皆さんが楽しめる企画を考えていきたいとはりきっています。

次回の企画については、SNSや図書館HPなどでお知らせします。図書館や本がより好きになる企画を学生コンシェルジュが考えますので、学生の皆さん、ぜひ一度参加してみてください。

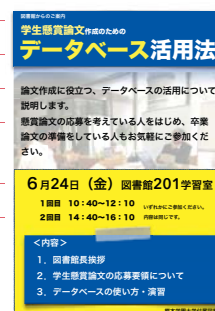


4 学生懸賞論文 平成27年度審査結果・表彰式

平成27年度学生懸賞論文には17篇の応募がありました。審査は論文の構成力、文章表現力、引用の仕方など、形式的な評価をする一次審査、内容に踏み込み論文の完成度を評価する専門的な二次審査と段階を踏み、厳正な審査が行われました。その結果、特選は残念ながら該当がなかったものの、以下の論文が入選、佳作に選ばれました。なお、表彰式は平成28年1月20日(水) 15時から図書館AVホールで行われました。堀正広館長から講評が述べられたあと、表彰・懸賞金の授与、入選者のスピーチと続き、最後に参加者全員での記念撮影が行われました。入選の2篇は、「平成27年度学生懸賞論文集」として発行され、図書館内で配布されています。

《特 撰》 該当者なし		
《入 選》 2篇		
布田 千明 (経済学科4年)	熊本の音楽経済発展に向けて	
尾口 貴宥 (英米学科3年)	“Dr. Heidegger's Experiment”における Unpardonable Sinと孤独という瑕疵	
《佳 作》 8篇		
小野 晋太郎 (経済学科4年)	熊本県白河の歴史 白河における水害要因の検証	
高尾 明里 (経済学科4年)	熊本市のMICEについて(MICE開催地として選ばれる都市になるために)	
村上 美砂 (経済学科4年)	島根県の水産業について	
野口 真実 (経済学科4年)	阿蘇地域の観光振興 ～県内観光客への誘致について～	
上野 亜紗美 (経済学科4年)	熊本市の発展について ～福岡市と比較して～	
田上 真弓 (経済学科4年)	漫画・アニメでの地域活性化について	
井上 莉緒 (経済学科2・3年) 〈共同執筆 他3名〉	地方創生とICT ～ARによる観光情報発信～	
高本 晟世 (リ-ガエコノミクス学科4年)	訪日外国人の増加と受入れ体制 一旅館業法と「Air bnb」を中心に一	
(学年は表彰当時)		

(学年は表彰当時)



平成28年度募集と説明会開催

平成28年度は募集要項を発表したあと熊本地震に見舞われ、論文を書くにあたり図書館の資料を閲覧できない状態が続いてしまいました。このため例年行っている説明会を「データベース活用法」として、平成28年6月24日(金)に論文執筆のためのデータ収集方法に特化し、ILLを積極的に利用してもらおうと、より実践的な内容で行いました。

今年度の応募は難しいのではないかと考えていましたが、こんな環境の中でも数篇の応募があり、みなさんの意欲的な姿勢に感心しました。ただ今審査中です。



5 五ヶ瀬町立小学校の6年生が 観光PRに本学を訪れました

平成28年11月9日(水)、昨年に引き続き、五ヶ瀬町に4つある小学校の6年生24名が、五ヶ瀬町の観光施設や特産品を紹介する総合学習の一環で、本学を訪れました。

鞍岡小学校、三ヶ所小学校、坂本小学校、上組小学校から来てくれた子どもたちは、ランチタイムでにぎわう7号館レストラン前や学生会館前、図書館で五ヶ瀬の魅力をアピール。

図書館では緊張しながらも学習の成果を発表する可愛い姿に、学生や教員らは思わず足を止めて聞き入っていました。日本最南端のスキー場(五ヶ瀬ハイランドスキー場)やワイナリーの話など、五ヶ瀬の豊かな自然を知るよい機会となりました。



入館者数統計

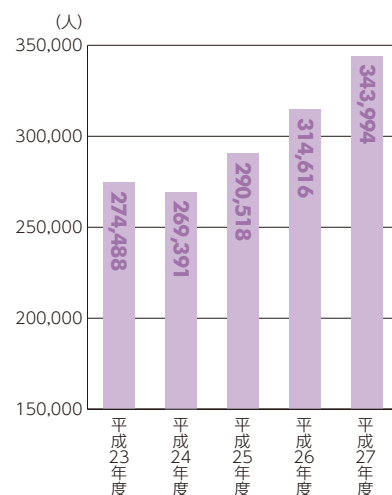
入館者数、過去5年で最高に!!



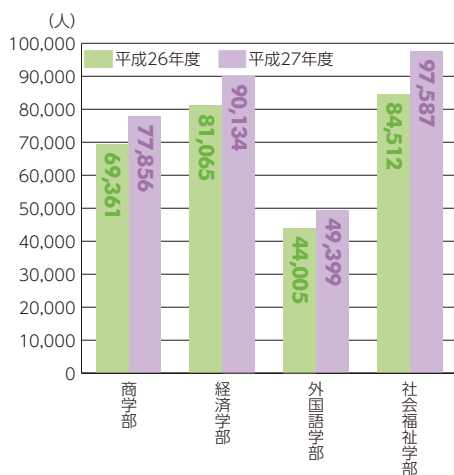
月別入館者数



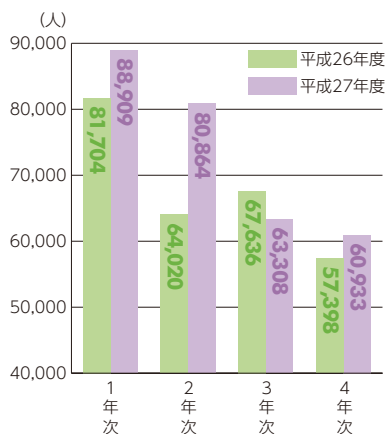
入館者数(過去5年間比較)



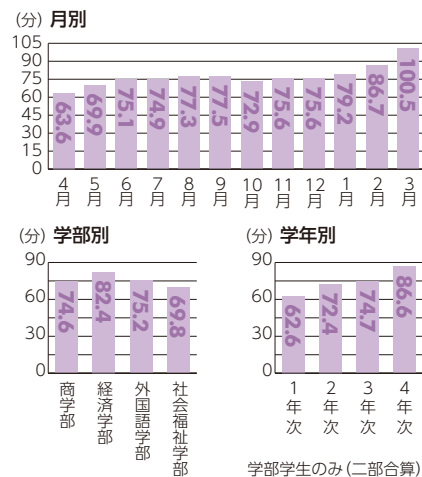
学部別入館者数



学年別入館者数



平均滞在時間



受入統計

平成27年度

	洋書	和書	合計冊数
購入	1,024	8,296	9,320
寄贈	33	240	273
受託研究費	0	16	16
合計	1,057	8,552	9,609



ラーニング・commons利用統計

平成27年度

内容	利用回数
授業等	227
講座・講習会等	41
学生企画	66
図書館企画	10
その他	13
合計	357

※ラーニング・commonsは、自由利用で届け出の必要はない。そのため、この統計は席確保のために事前に予約された催事のみ回数で作成している。



ILL依頼・受付件数

平成27年度

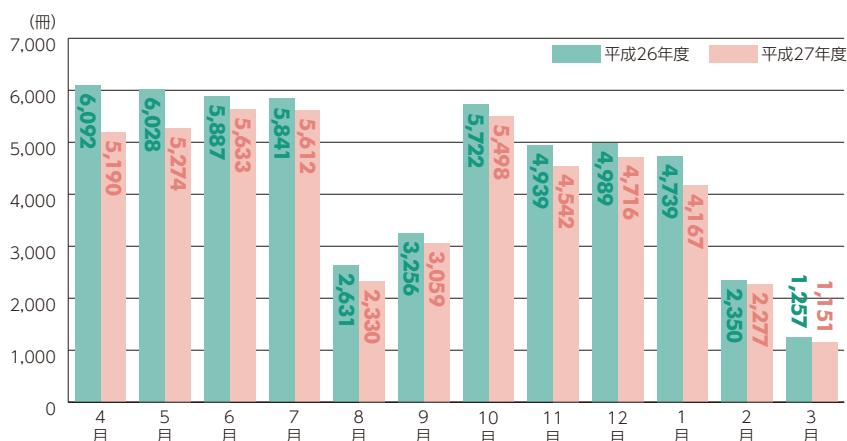
		件数
依頼	複写	659
	貸借	381
受付	複写	999
	貸借	220

冊数統計

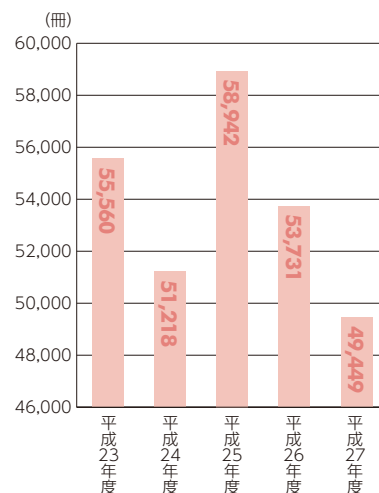
平成27年度
利用統計

貸出冊数統計

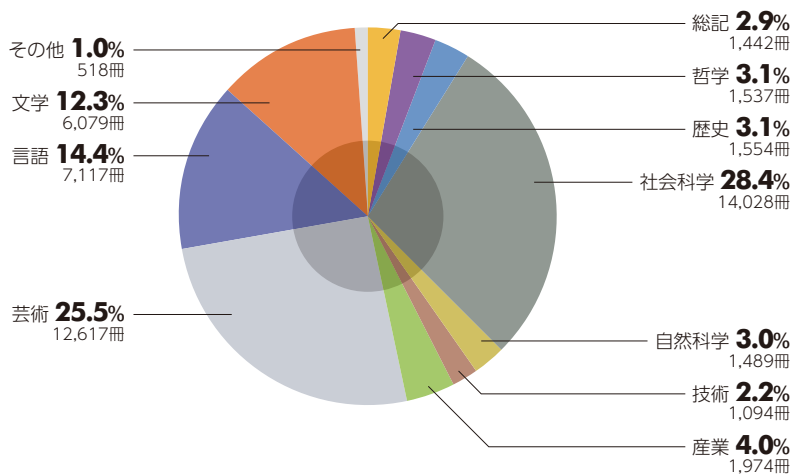
月別貸出冊数



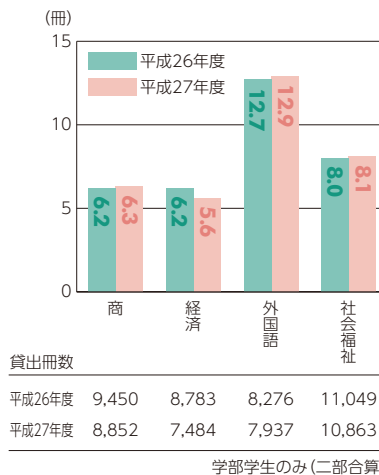
貸出冊数 (過去5年間比較)



分野別貸出冊数 平成27年度



学部別一人あたりの貸出冊数



AVコーナー利用状況

	人数
平成23年度	14,917
平成24年度	14,845
平成25年度	16,910
平成26年度	14,986
平成27年度	14,717

データベース利用統計

平成27年度 (件数)	2015年度 件数
日経テレコン21	200,090
eol	8,074
MAGAGINEPLUS	1,326
Cinii機関定額制	22,722
LEX/DB	1,213
EBSCOhost	2,355

統計より Statistics

利用者増にもかかわらず貸出冊数は過去5年間で最低。インターネット普及による「活字離れ」「読書離れ」と言われていますが、PCでデータを収集、また図書館を滞在型として利用する学生が増えていることも要因だと考えられます。昨年度から統計を始めた滞在時間からは「春休みは長くなるが4月(新学期)は短い」、「授業利用が多い学部と上級生ほど長い」という結果がでました。利用者の動向や入館者数との比較も含め、今後の推移を見守っていきます。



Library Diary

図書館日誌

2015年10月～2016年11月まで

図書館行事

- 10月5日～10月14日 ● 学生懸賞論文受付
- 10月17日 ● オープンキャンパス 図書館開放
- 10月11日 ● 休館(体育の日 通常授業に伴う開館)
- 10月20日～11月16日 ● Library Lovers' 2015開催
- 11月3日 ● 休館(文化の日)
- 11月18日 ● 図書館委員会
- 11月22日 ● 休館(推薦入試)
- 11月23日 ● 休館(勤労感謝の日)
- 12月20日 ● 休館(天皇誕生日 通常授業に伴う開館)
- 12月23日 ● 図書館委員会
- 12月25日～1月4日 ● 休館(年末年始休業)
- 1月11日 ● 休館(成人の日)
- 1月16日～1月17日 ● 休館(大学入試センター試験)
- 1月20日 ● 学生懸賞論文表彰式
- 2月1日～3月23日 ● 春休み長期貸出
- 2月7日～2月11日 ● 休館(一般入試)
- 2月17日 ● 図書館委員会
- 3月8日 ● 休館(一般入試)
- 3月21日 ● 休館(春分の日振替休日)
- 3月22日 ● 図書館委員会
- 3月23日 ● 学位記授与式
- 3月31日 ● 休館(年度末処理)
- 4月3日 ● 入学式
- 4月14日 ● 新入生ガイダンス(熊本地震のため1日のみ)
- 4月15日～5月15日 ● 熊本地震による臨時休館
- 5月2日 ● 図書館委員会
- 5月16日 ● 一部分のみ開館
- 5月23日 ● 図書館委員会
- 6月6日 ● 図書館委員会
- 6月20日 ● 図書館委員会
- 6月24日 ● 学生懸賞論文説明会
- 8月18日～9月12日 ● 夏期休業期間の長期貸出
- 8月13日～8月17日 ● 休館(夏期一斉休業)
- 8月22日～8月29日 ● 復旧工事のため臨時休館
- 9月1日～9月2日 ● 復旧工事のため臨時休館
- 9月9日～9月22日 ● 復旧工事のため臨時休館
- 9月20日 ● 図書館委員会

- 9月23日 ● 1階・2階完全開館
- 9月27日 ● 復旧工事のため臨時休館
- 10月1日 ● オープンキャンパス 図書館開放
- 10月3日～10月12日 ● 学生懸賞論文受付
- 10月9日 ● 休館(体育の日 通常授業に伴う開館)
- 10月11日 ● 図書館委員会
- 10月24日 ● 3階完全開館
- 11月3日 ● 休館(文化の日)
- 11月17日 ● 図書館委員会
- 11月20日 ● 休館(推薦入試)
- 11月23日 ● 休館(勤労感謝の日)

見学者・団体

- 10月2日 ● 黒石原支援学校(11名)
- 10月5日 ● 鹿南中学校(23名)
- 10月15日 ● 熊本国府高等学校(147名)
- 10月22日 ● 千原台高等学校(80名)
- 10月27日 ● 熊本信愛女学院高等学校(46名)
- 11月11日 ● 大牟田北高等学校(2名)
- 2月19日 ● 龍谷高等学校(55名)
- 2月23日 ● 高森高等学校(11名)
- 2月24日 ● 菊池農業高等学校(33名)
- 2月24日 ● 大津高等学校(120名)
- 3月16日 ● 菊池高等学校(62名)
- 3月16日 ● 菊池農業高等学校(31名)
- 3月16日 ● 球磨商業高等学校(45名)
- 3月16日 ● 熊本中央高等学校(65名)
- 3月16日 ● 御船高等学校(33名)
- 7月6日 ● 湧心館高等学校(11名)
- 9月14日 ● 慶誠高等学校(44名)
- 9月23日 ● 熊本信愛女学院高等学校(44名)
- 10月13日 ● 熊本国府高等学校(117名)
- 10月14日 ● 福岡県立福島高等学校PTA(25名)
- 10月18日 ● 湧心館高等学校PTA(24名)
- 10月20日 ● 久留米市立南筑高等学校(67名)
- 10月21日 ● 長崎県立口加高等学校PTA(13名)
- 10月26日 ● 多良木高等学校(73名)

編集後記

日本の「図書館法」によれば、図書館とは必要な資料を収集・整理・保存して公開し教養や生活を豊かにする施設であり、それを構成する3つの要素が「資料(本等)」、「施設」、「図書館職員」です。

今回の地震で、その構成要素のひとつである施設(書架等)に多大な被害を受け、復旧に6ヶ月を超える時間がかかりました。

今回は、被害状況や復旧作業の様子や復旧した図書館を利用者や関係者の皆さまに伝えたいと考え編集しました。復旧作業を優先したため、写真がなく文章だけになったところもありますが、少しでも状況が伝わればと思っています。

最後になりましたが、利用者あつての図書館です。大いに活用してください。(Y・K)

熊本学園大学 図書館報

大南

第55号
2017年1月

編集・発行／熊本学園大学付属図書館
〒862-8680 熊本市中央区大江2丁目5番1号
TEL (096) 371-8047 (直通) FAX (096) 364-5173
<http://www.lib.kumagaku.ac.jp/>

携帯電話から本学図書館の蔵書検索ができます。

機種によっては正しく表示されない場合がありますのでご了承ください。

